笠亭仙果鈔録
一陽齋豊國画
十七編下
萬吉板
十七編上

十七編上

富士見
茅渟
いなのさと

仙果銘録
豊國忠画

十七編

五周

葛吉板

一

ひろくの大古神代のいにしへ時世人の畜る足往とらや大年士那とりの教へ其頃尺珍ムエ
の出る由書紀垂仁の巻にあり彼国に桑田村の獲猪
往足の勢速き故る鈍鈍いろの種類
ゆ大とらひ王とらひ大傳と其事の
もつれど何処せ〻保ゆりあるさとにいと大
知られ今春水子の假字讀の省畧文意と
脚の神速さ鈍いろさらに及ぶべきにあらず
縁大のひとり所を通ること如くオモケくと励まし人言にあ
あるれどの

米飯

えびよの作意の妙と
其事る後ゆ感ゆ撮りゆ其
ようなありのまゝに

記

序

①ゆ子ゆ走徒ゆ編数重て鈔本のかいるるゆ似れと曲亭翁の
丹誠をるる丈い其依ゆ草造紙ゆ見せる恵ゆ
益るるゆ毛脱の老伯西園寺内府
上京ゆ年の長い看客もいとり飽く
彼も是も亦貴るる大江戸の故人の再誠を挽き共ゆ

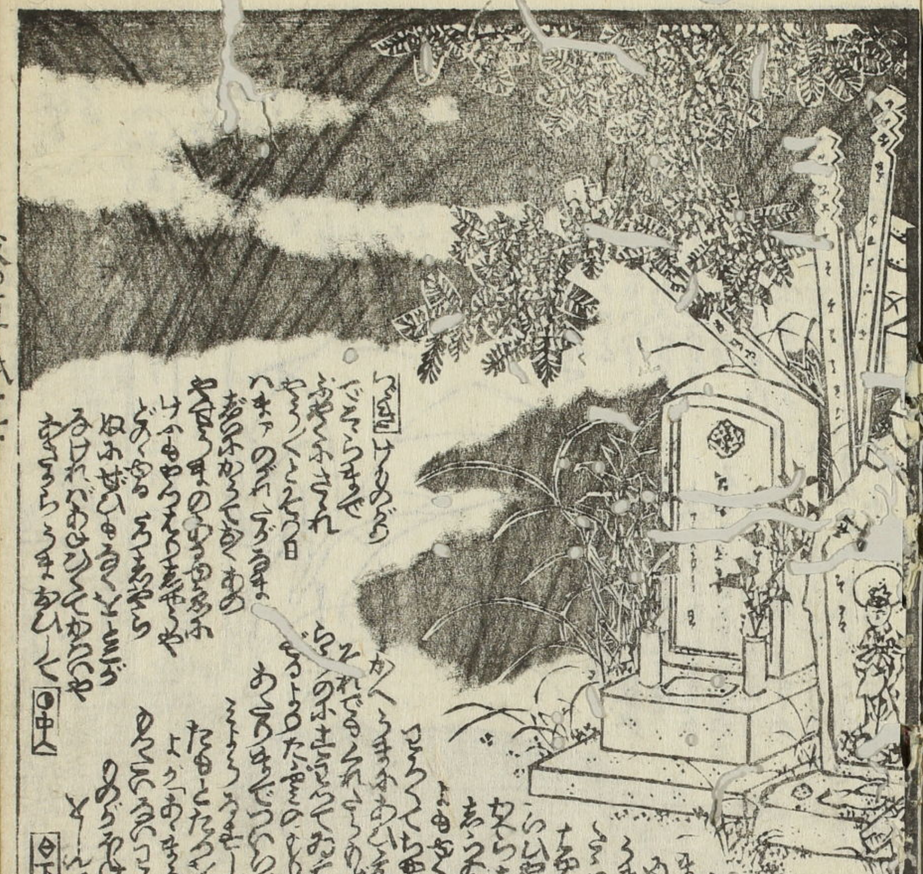
辛夷新春
仙果識

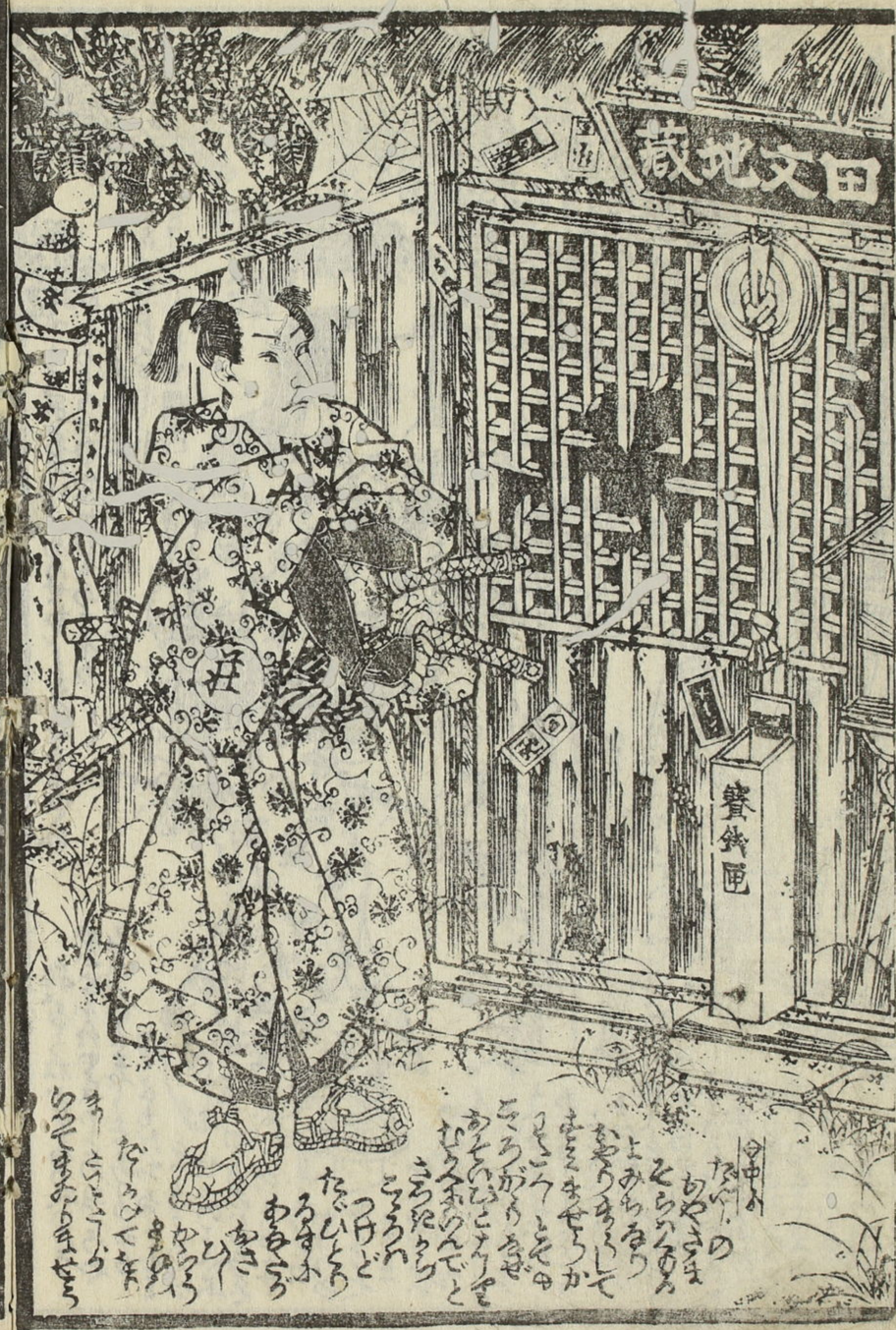
荒芽山月
秋の唐麻
妹侯
辺郎妻
引手
尺八郎妻
一節
姉妹
飛樹
一郎
紅の百せ
仇なる愛の
舊の水茎
殘の雪と
書せんり
右の唱
夫々の魂魄を誘来り
些月雅
大山
道節
十條氏
利根

真

道

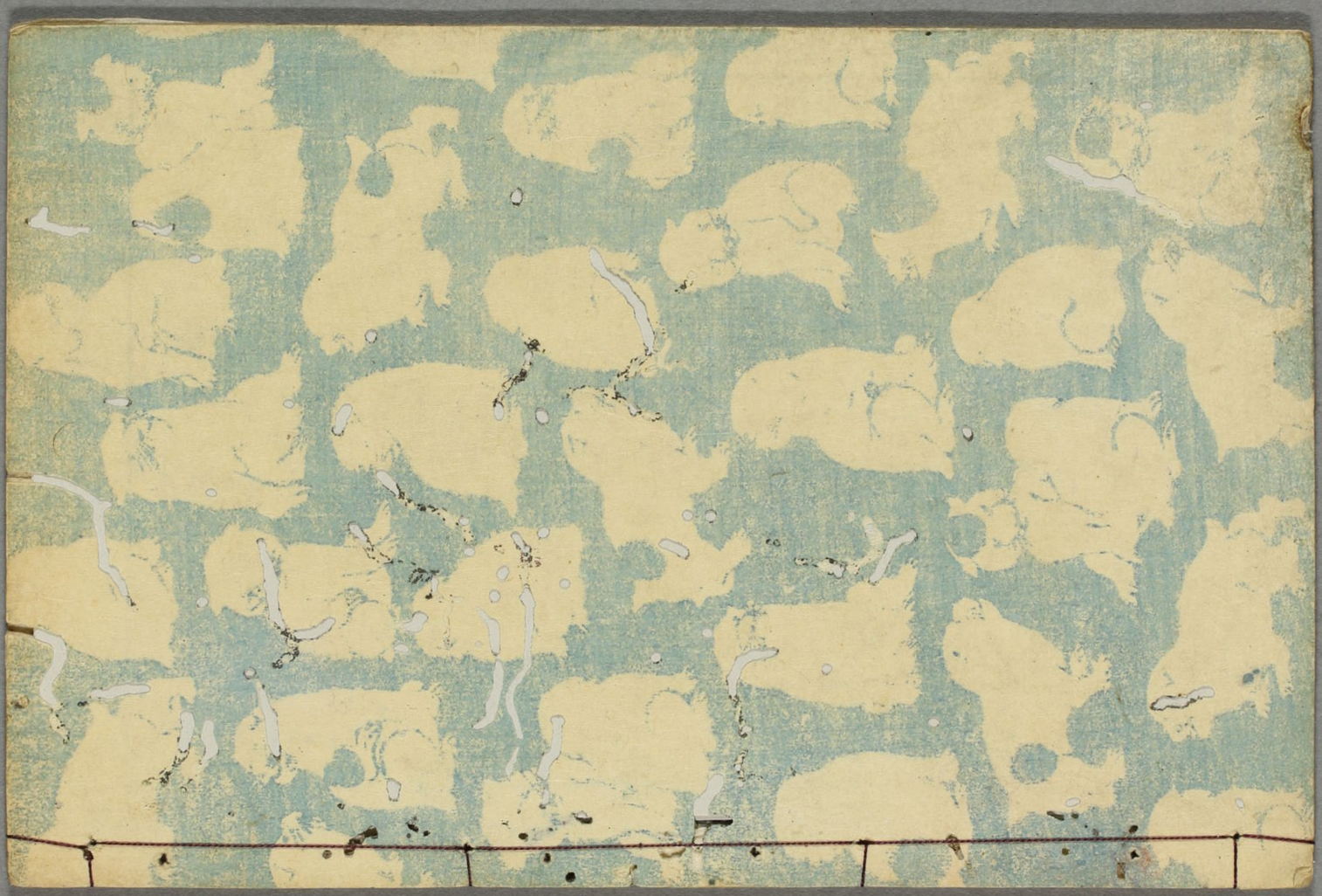
道




田文地蔵
賽銭箱

仙果録　豊國画

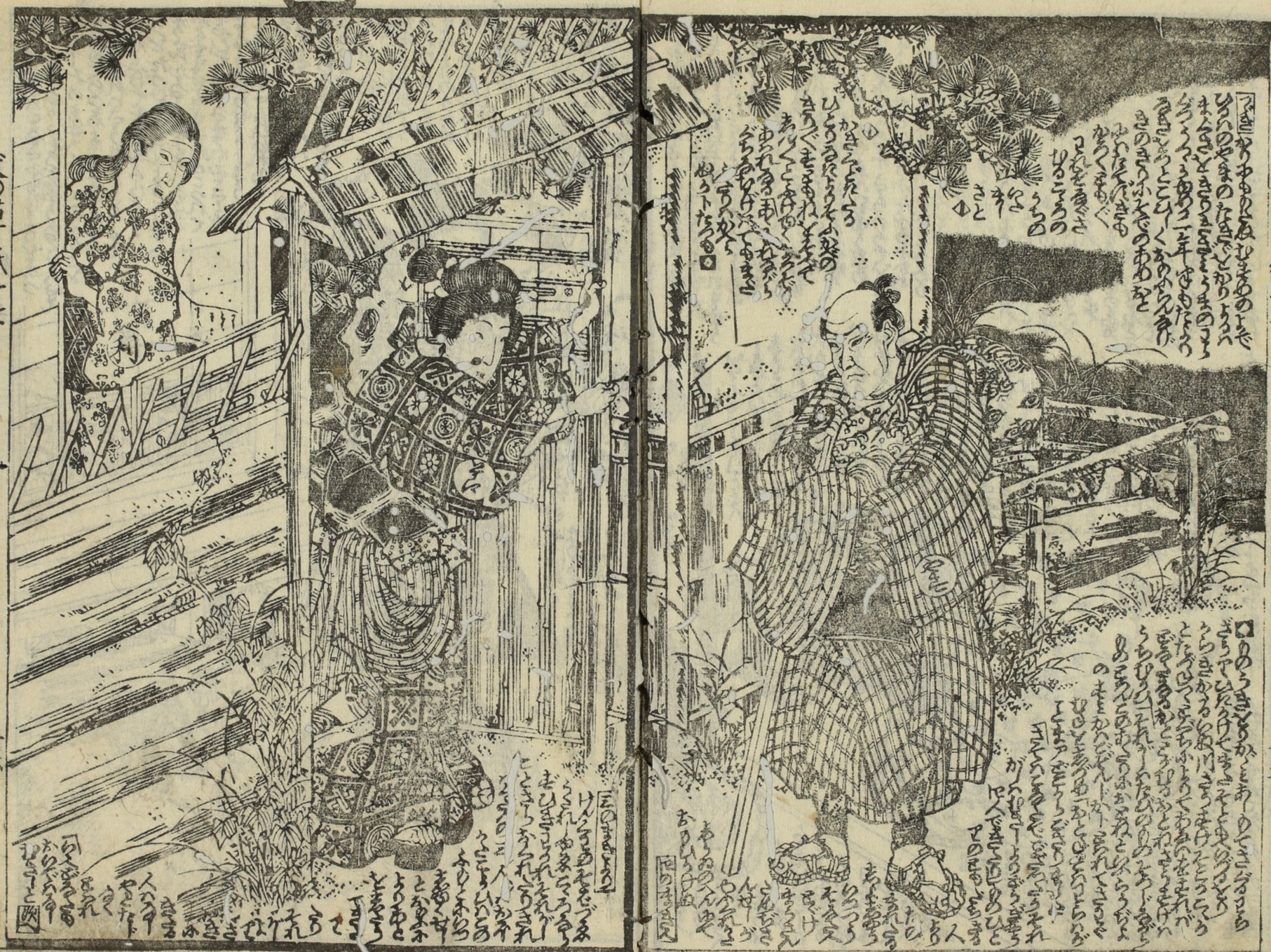
御免痛積湯　せんきゅう
御用藥所　信州上田東山堂製
中橋南傳馬町二丁目　清水屋吉藏
清茶　一包　三十六文
同　芙蓉　一包　三十六文
同　化粧　曙の富士　三十六文
一包　代四十錢
一包　古四文



笠亭仙果鈔錄
一陽齋豐國画
十七編下
萬吉板

三

道



仙果錄画

目錄

新板目錄

春新板

四辛亥

大和國名所記　十四五　一九作
八大傳　天保紙　十六七　十八九　豊国画

新編西国巡礼　十四五　一九作
語　六七　國輝画

御贈美少年始　四五　一九錄
六七　國輝画

仙果作
文正　天保草紙　六七八　國輝画

俠客傳小摸略說　四五　西馬錄
六七　国輝画

鶏聲粟鳴子　二冊　西馬作
歌麿画

鳴巡遊間朝日祭　初二　種貫譯
三四　國輝画

冨士額天人扶七　二冊　仙果作
歌麿画

春柳錦花五　初二　一九錄
三四　國輝画

府郷御江戸繪圖　大奉書　六枚つゞき

大日本國郡輿地全圖　日刊　六枚つゞき

北本　東都日本橋馬町二丁目
錦繪　松屋藏